

SUMMIER Concert 2013

美しいソプラノの歌声が響きわたる



PROFILE 河野明子(ソプラノ)

国立音楽大学声楽科卒業後、1977年よりミラノへ留学、コンセルヴァトーリオ(音楽院)「ジュゼッペ・ヴェルディ」入学。その後、マリア・カラスの師であるエルヴィーラ・デ・イダルゴ女史のもとで研鑽を積む。1980年より数々の国際声楽コンクールに入賞。なかでも1981年、ペーザロ市におけるロッシーニ音楽祭(ロッシーニ オペラ フェスティバル)主催のベルカントコンクールにおいてソプラノ部門で最優秀となり、1985年、同音楽祭に出演した。(大歌手でロッシーニの妻であったイザベラ・コルブラン生誕200年記念討論会において、ロッシーニが彼女の為に作曲したオペラアリア数曲を歌った)1984年、ロッシーニ作曲、オペラ「セヴィリアの理髪師」のペルタ役でオペラデビューを果たし、1990年チマローザ作曲、オペラ「バリの絵描き」(イタリア初公演)に出演した。演出家、井田邦明氏、野村耕介氏(故)等が率いるパフォーマンスにも出演(ミラノ市)、声明との共演「南無の会」や教会音楽・現代音楽・オペレッタ等、幅広いレパートリーでイタリアをはじめ海外においても活躍している。渡伊20年後の1997年より本拠地を日本に移し、東京、福岡のコンサートホールを中心に、各地での市町村文化事業参加及び寺院の催事などもコンサート活動を行っている。2005年には岩崎大輔氏(ジャズピアニスト)率いるジャズバンドとの初の共演(福岡)、またイタリア(ラベドーナのフェスティバル)「丘の音楽フェスティバル」にてヴィヴァルディ作曲「Laudate pueri RV600」をH.KOSNICK クインテット(ヴェネツィア合奏団のメンバーが主になって構成された)と共演した。この共演をきっかけに2010年6月ヴェネツィア合奏団以外のメンバーも加え演奏会を催し好評を得る。2011年4月には彼等と共に北イタリア各地でコンサートに出演。2012年再びイタリアの演奏家達(同メンバー)とクラリネット、アコーディオン奏者も来日し、福津市文化会館カメリアホール主催のコンサート、東京板橋区「安養院」主催の森のお寺のコンサート、東京中野区での東日本大震災支援のためのチャリティコンサート等を催し好評を博す。田中靖純(故)、横田孝(故)、松山憲善、エルヴィーラ・デ・イダルゴ(故)、ティート・ゴツピ(故)、ロセッタ・エリーの各氏に師事。

日時 2013年7月20日(土) 午後2:30開場 午後3:00開演

入場無料・全席自由

会場 名古屋学院 クライン・メモリアル・チャペル

第1部

名古屋中学・高等学校

- ◆ 聖歌隊
- ◆ オーケストラ部
- ◆ 吹奏楽部
- ◆ クライnz・シスターズ

第2部

河野明子(ソプラノ) 白石英統(ピアノ伴奏)

「オー・ソーレ・ミオ」「サンタ・ルチア」
「初恋」「夏の思い出」
「ある晴れた日に～オペラ『蝶々夫人』より」 他